

年間授業計画【新様式】

高等学校令和6年度（1学年用）教科公民科目公共

教科：公民科目：公民単位数：2単位

対象学年組：第1学年

教科担当者：平山剛大

使用教科書：（「高等学校公共これからの社会を考える」（数研出版））

教科公民の目標：

- 社会的な見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国民としての資質確立を目指す。
- 【知識及び技能】

選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解し、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】

現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】

現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、人間としての在り方生き方についての自覚を深める。
- 科目公共の目標：

人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】			
選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解しているとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。		現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論している。	国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。			

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	導入 公共的な空間をつくる私たち 【知識・技能】 ・ 青年期は自立や自律をはかる重要な時期であることを理解できている。 【思考・判断・表現】 ・ 自己形成の課題について考察できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 自らを成長させる人間としての在り方生き方とはどのようなものか主体的に追究できている。	・ 青年期の特徴と発達課題 ・ 欲求階層説と防衛機制 ・ 性的少数者の人権尊重 ・ SDG s（持続可能な開発目標） ・ 科学的精神のめばえ ・ 人間の尊厳を求めて	【知識・技能】 ○ 自らの体験や他者との共生を通して、青年期の特徴や課題、性的少数者の人権尊重やSDGsについて、調べまとめることができる。 ○ 科学的・合理的な考え方について理解することができる。 【思考・判断・表現】 現代の諸課題について多面的・多角的に考察し、その課題について公正に判断し、議論している。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代の諸課題に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	7
	第1章公共的な空間における人間としての在り方生き方 【知識・技能】 ・ 地球環境問題、資源・エネルギー問題、生命科学や情報技術の進展などの事象について理解できている。 【思考・判断・表現】 ・ 公共的な空間における人間としての在り方生き方を考察するための選択・判断の手掛かりが考察できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 選択・判断の手掛かりとなる考え方を使得って、現代の諸課題を主体的に追究できている。	・ 地球温暖化が引き起こす環境問題 ・ 地球環境問題への国際的な取組み ・ エネルギー資源の特徴 ・ 再生可能エネルギーとその普及	【知識・技能】 ○ 地球温暖化やエネルギー問題について、諸資料から情報を適切に読み取ることができる。 【思考・判断・表現】 ○ 帰納法と演繹法の違いを正確に判断できる。 ○ 環境問題やエネルギー問題について、諸課題をあげ公正に判断し、議論している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○ 現代の諸課題について主体的に調べ、その課題に対して自らの考えのもと解決しようとしている。	○	○	○	7
	中間調査			○	○		1
	第2章公共的な空間における基本原理 【知識・技能】 ・ 人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本原理について理解できている。 【思考・判断・表現】 ・ 日本国憲法の基礎にある考え方に着目し、公共的な空間における基本原理との関連を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 民主政治が自らの生活とかわつていてこれを理解し、民主社会に早期未調査	・ 政治と国家 ・ 民主政治の始まり ・ 基本的人権の保障と社会契約説 ・ 国民主権と権力分立 ・ 法の支配 ・ 日本国憲法の制定と基本原理 ・ 基本的人権と公共の福祉 ・ 国会の地位と権限 ・ 内閣の地位と組織	【知識・技能】 ○ 基本的人権を獲得するまでの歴史的背景を踏まえ、民主政治の基本原理について理解することができる。 ○ 世界の政治機構と日本の政治機構を比較し、効率的に調べ、まとめることができる。 【思考・判断・表現】 多数決による民主政治の課題や国会・内閣の抱える諸課題について、公正に判断し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 基本的人権や政治機構について関心を持ち、その諸課題について、新聞等を活用し、主体的に考察しようとしている。	○	○	○	11
				○	○		1

2 学 期	第3章ルールをつくり守る私たち 【知識・技能】 ・法や規範の意義や役割が理解できている。 ・公正な裁判には司法権の独立が必要であり、国民の参加が大切であることが理解できている。 【思考・判断・表現】 ・日常の買い物や銀行のクレジットカードなど、身近な契約の例を挙げることができる。 ・裁判員制度がどのような目的で創設されたか考察できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・身近な紛争状況を設定し、それを解決するためのルール作りを体験的に行うことができる。	・法の機能と限界 ・物権と債権 ・多様な契約と消費者行政の役割 ・司法権の独立と裁判官の身分保障 ・裁判所の種類と裁判のしくみ ・裁判員制度 ・選挙の原則と選挙制度 ・日本の選挙制度のしくみと問題点 ・政党と民主政治 ・日本の政党政治 ・地方自治のしくみ ・これからの地方自治 ・マスメディアの役割 ・压力団体と現代政治	【知識・技能】 ○憲法・法律・道徳のそれぞれの役割を整理し、まとめることができる。 ○裁判員制度の目的を理解することができる。 ○日本の選挙制度や政党、地方自治の意義について理解することができる。 ○世界の政治機構と日本の政治機構を比較し、まとめることができる。 【思考・判断・表現】 ○身近な法の利用について、校則と法律を比較し、その違いについて表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○契約を結ぶ際の注意点について議論し、契約後に生じる責任について、主体的に考察しようとしている。	○	○	○	12
	中間考査			○	○		1
	第4章政治に参加する私たち 【知識・技能】 ・地方自治や選挙の仕組み、政党の役割を考察することによって具体的に民主政治を支える制度を理解できている。 【思考・判断・表現】 ・選挙制度の違いによって、政党制にも大きな違いがでてくることを考察できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・模擬投票などを通して、選挙に積極的に参加するなど主権者としての自覚を持つことができる。	・主権国家と国際社会 ・国際法と国際裁判所 ・領土問題と国際法 ・東西の対立と「雪どけ」 ・近年の国際情勢	【知識・技能】 ○国際法を踏まえ、日本の領土をめぐる情勢について、理解することができる。 【思考・判断・表現】 ○戦後の国際情勢について、多面的・多角的に考察し、客観的視点で公正に判断することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○近年の国際情勢や現代の紛争について、関心をもち、主体的に考察しようとしている。	○	○	○	7
	第4章政治に参加する私たち 【知識・技能】 ・冷戦の成立とその終結後の国際政治の流れが理解できている。 【思考・判断・表現】 ・集団の安全保障がなぜ有効なのか考察できている。 ・国連の現状と課題について考察できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・日々報道される世界の国際紛争に関心が持てている。 ・それぞれの紛争の解決への筋道は何か提示することができる。	・憲法の平和主義と自衛隊 ・日米安全保障条約に基づく日本の安全保障 ・国際連合の目的と機構 ・国連の課題	【知識・技能】 ○近年の国際情勢について、国際連合が果たすべき役割を踏まえつつ、新聞を活用しまとめることができる。 【思考・判断・表現】 ○領土問題を含めた国際問題について、多面的・多角的に考察し、客観的視点で公正に判断することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○日本の安全保障について、関心をもち、主体的に考察しようとしている。	○	○	○	7
	期末考査			○	○		1
3 学 期	第5章経済活動を行う私たち 【知識・技能】 ・現代の企業の果たしている役割が理解できている。 ・中小企業や農業の果たしている役割と現状を理解できている。 【思考・判断・表現】 ・現代の企業倫理について考察できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・AIやITなどの先端技術が発展するなかで、自分の進路や職業選択を考えることができる。	・国民経済と経済主体 ・資本主義経済の変容と現代経済 ・株式会社 ・産業構造の変化（AIの進展と職業選択） ・労働者の権利（労働基本権）と労働三法 ・市場のしくみとその失敗 ・物価のインフレ・デフレ	【知識・技能】 ○株式会社のしくみや企業の社会的責任について理解することができる。 ○インフレ・デフレについて理解し、その影響が国民の経済活動に与える影響についてまとめることができる。 【思考・判断・表現】 ○身近な体験を通して、労働者の権利について公正に判断し、考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○経済のしくみに関心をもち、主体的に経済活動について考察しようとしている。	○	○	○	7
	第5章経済活動を行う私たち 【知識・技能】 ・市場経済のメカニズムが理解できている。 【思考・判断・表現】 ・需給曲線を使って、どのような場合に価格が変動するのか考察できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・商品の価格は需給関係によって変動するものもあることを理解し、合理的な消費行動がとれている。	・財政の機能と目的 ・租税と公債 ・公害・環境対策の原則 ・日本の社会保障制度 ・貿易のしくみと学説 ・外国為替と為替レート ・IMF・GATT体制 ・今日の国際経済	【知識・技能】 ○租税の果たす役割や貿易のしくみについて理解することができる。 ○円安・円高についてまとめ、それらが国民に与える影響について理解することができる。 【思考・判断・表現】 ○持続可能な社会保障について議論し、他者に自らの考えを伝えようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○財政の機能や国際経済に関心をもち、日常の問題に結び付け、考察しようとしている。	○	○	○	7
	年次末考査						1
							合計
							70